



第83期
SANWA REPORT
中間報告書


平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日

街を、ささえる。
明日を、あける。



三和ホールディングス株式会社

証券コード：5929



「動く建材」のグローバル・メジャーとして、
「グローバル化」と「多品種化」を進め、お客様から
信頼をしていただくことで、
世界中に「安全・安心・快適」を広げてまいります。



代表取締役会長 CEO 高山 俊隆

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、当社第83期（2017年4月1日～2018年3月31日）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の状況

当期間における国内経済は、住宅着工戸数は弱含んでいるものの、非住宅着工および設備投資は底堅く推移し、個人消費の持ち直しもあり、緩やかながら回復基調となりました。海外（1月～6月）においては、米国経済は、個人消費と住宅着工件数が底堅く緩やかに回復が続き、欧州経済も、建設投資と設備投資が堅調で総じて回復基調で推移しました。

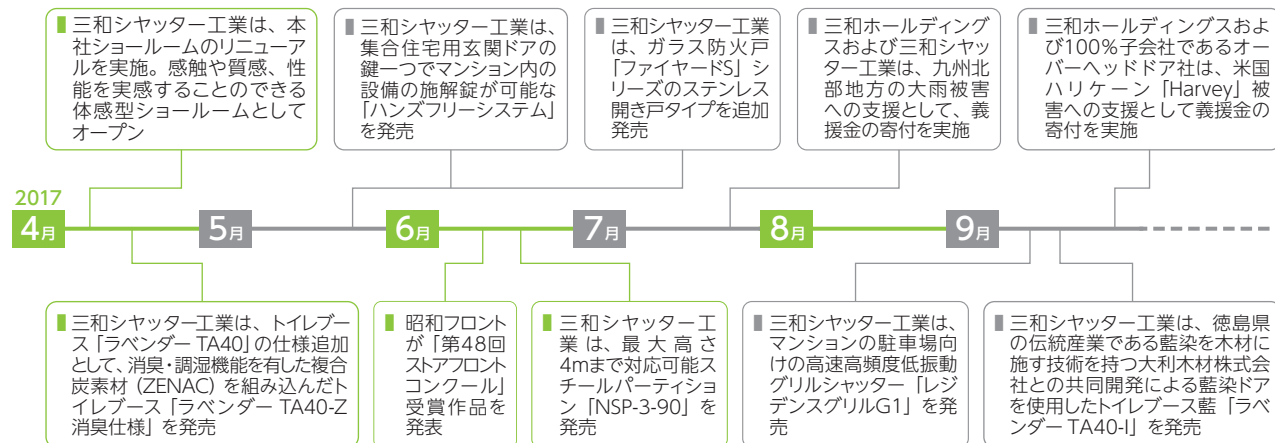
このような環境下、当社グループは、長期経営ビジョン「三和グローバルビジョン2020」第二次3ヵ年計画の2年目を迎え、「グローバル・メジャー」としての競争力を強化するため、グループ一丸となり取り組んでおります。国内においては、既存事業の強化、連携による事業強化・拡大、防火設備の新しい検査・報告制度への対応に引き続き注力するとともに、多品種化戦略の一環として日本スピンドル製造株式会社より建材事業を譲受けて三和スピンドル建材株式会社を設立し、間仕切事業の拡大を図りました。米国では、代理店、販売店向けの支援強化を実施するなどコア事業の基盤強化による成長に取り組み、また、川下事業戦略にも注力し、シェア拡大に努めました。欧州では、英国事業会社の完全子会社化を実施し、ガレージドアのシェア拡大を更に推進するとともに、前年買収したノルスード社を活用して産業用ドアの拡販に努めるなど、事業基盤の強化を図りました。

以上の結果、国内については、三和シャッターが堅調で国内子会社計で増収となり、海外についても、米国および欧州ともに現地通貨ベース・円ベースともに増収となり、当社グループの第2四半期累計の連結売上高は、上期の過去最高売上高となりました。



利益面においても、国内では数量増効果により増益となりました。米国では、鋼材コスト高騰に対応した販売価格引上げ効果が寄与し、増益となりました。欧州では、産業用ドアを中心とした数量増効果が大きく増益となりました。これらの結果、連結利益において、前年・予想を上回り、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益とも増益となり、昨年に引続き上期の過去最高益を更新しました。

●当社グループの第2四半期連結累計期間の主な出来事



今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内では雇用・所得環境が改善するなかで、住宅着工戸数は、期初予想比では落込み幅は小さい見込み、非住宅着工床面積および設備投資についても、期初予想から上方修正され増加傾向で推移していくと思われます。米国では、雇用者数は増加、失業率は低下傾向にありますが、住宅着工戸数および中古住宅販売については高水準を維持しながら緩やかな増加に留まると思われます。また、欧州では、主力市場であるドイツは、住宅・非住宅市場とも回復傾向、景気は緩やかに回復していますが、英国ではEU離脱問題に伴う不透明感による影響から、回復がさらに緩やかになることが見込まれます。

このような状況のなかで、当社の通期の連結業績予想においては、売上高は上期の好調を受けて、期初予想を増額し、過去最高を見込んでおります。営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、期初予想を据え置きますが、過去最高益を見込んでおります。

今後も、国内および欧米においてはこれまでの取り組みを継続、グローバル・メジャーとしての業績向上を推進するとともに、法令を遵守し、さらなるガバナンスの強化に取り組み、「二つの信用」の確立にむけて、海外を含めた全社員が「ひとつの三和」としてグローバルに連携し、誠実な企業経営を致します。

株主の皆さまにおかれましては、当社の経営方針ならびに諸施策をご理解いただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

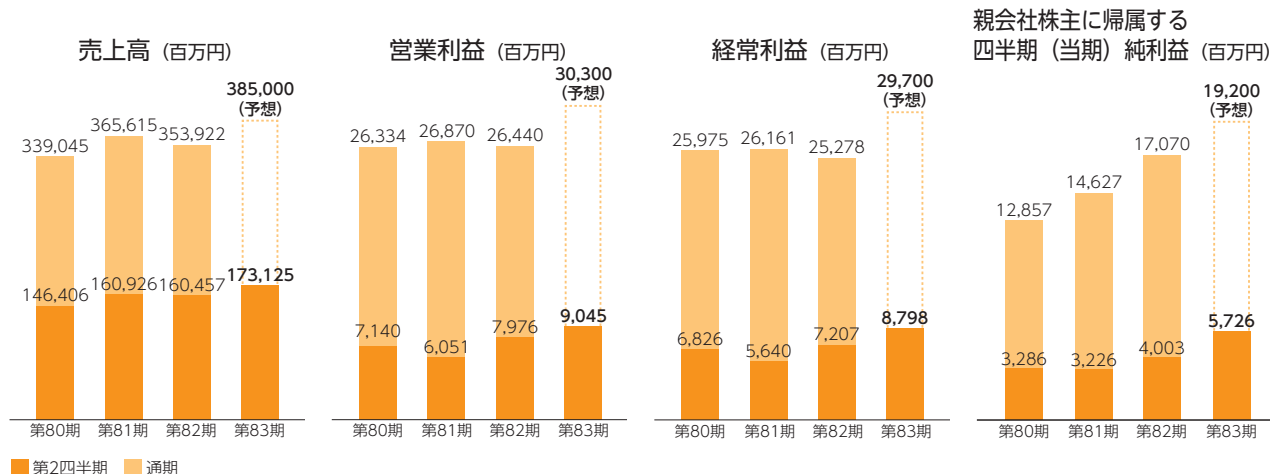
2017年12月

財務ハイライト（連結）

項目	第80期	第81期	第82期	第80期 (第2四半期)	第81期 (第2四半期)	第82期 (第2四半期)	第83期 (第2四半期)
	2015年3月31日	2016年3月31日	2017年3月31日	2014年9月30日	2015年9月30日	2016年9月30日	2017年9月30日
売上高 (百万円)	339,045	365,615	353,922	146,406	160,926	160,457	173,125
営業利益 (百万円)	26,334	26,870	26,440	7,140	6,051	7,976	9,045
経常利益 (百万円)	25,975	26,161	25,278	6,826	5,640	7,207	8,798
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (百万円)	12,857	14,627	17,070	3,286	3,226	4,003	5,726
1株当たり四半期（当期）純利益 (円)	54.09	63.06	74.61	13.71	13.80	17.50	25.29
総資産 (百万円)	323,327	310,269	323,393	288,245	317,181	283,005	316,395
純資産 (百万円)	126,748	130,334	139,905	115,856	127,899	121,312	138,720
1株当たり純資産 (円)	541.49	565.63	607.15	482.47	546.31	526.45	612.27
配当	9.00 (16.00)	13.00 (23.00)	13.00 (25.00)	7.00	10.00	12.00	15.00

(注) 1. 1株当たり四半期（当期）純利益は期中平均発行済株式の総数により、また、1株当たり純資産は期末発行済株式の総数により算出しております。
 なお、発行済株式の総数については自己株式を除いております。

2. 配当の（ ）内は年間配当額を記載しております。



(注) 点線の通期連結業績予想値は、入手可能な情報に基づいて算出しておりますので、実際の業績等は、環境や業況の変化により予想値と異なる可能性があります。



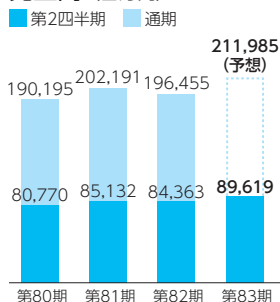
地域別営業の状況（第2四半期連結累計期間）

日 本	売上高	89,619百万円
	営業利益	7,040百万円

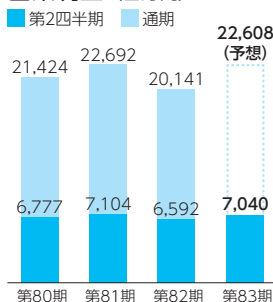
国内では、ビルマンションドアが大幅に増加したこと、点検法制化に伴う保守点検が好調でメンテナンスサービス事業も増収となり、売上高は前年同四半期比6.2%増の89,619百万円となりました。

利益に関しましては、鋼材コストアップによる値戻しは進まなかったものの、数量効果の貢献により前年同四半期比6.8%増の7,040百万円のセグメント利益となりました。

売上高（百万円）



営業利益（百万円）

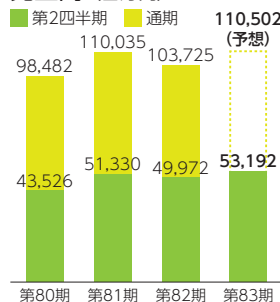


北 米	売上高	53,192百万円
	営業利益	2,808百万円

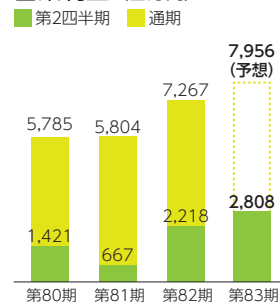
米国では、閉閑機は、住宅用が好調でホームセンター向けも回復、主力のドアにおいてもガレージ用・商業用共に好調を維持したことにより、売上高は前年同四半期比6.4%増の53,192百万円となりました。

利益に関しましては、鋼材コストアップに伴う販売価格の値上げ効果が大きく、前年同四半期比26.6%増の2,808百万円のセグメント利益となりました。

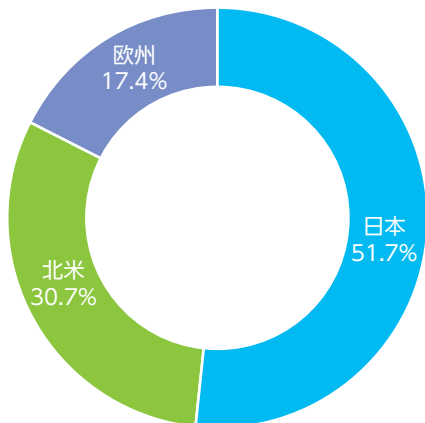
売上高（百万円）



営業利益（百万円）



●地域別売上高構成比



(注) 1. 地域別セグメントに属さない数値は除いているため、各地域の売上高、営業利益の合計値は、連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

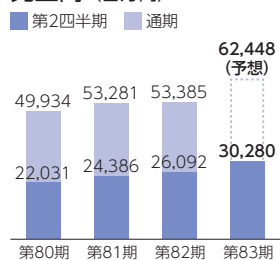
2. 点線の通期連結業績予想値は、入手可能な情報に基づいて算出しておりますので、実際の業績等は、環境や業況の変化により予想値と異なる可能性があります。

欧 州	売上高	30,280百万円
	営業利益	840百万円

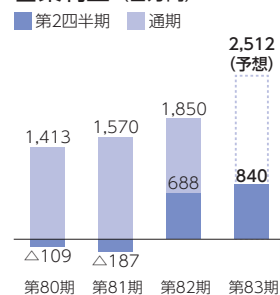
欧州では、市場の回復によりガレージドアが増収、また産業用ドアは、ノルスード社の買収効果もあり引き続き好調を維持し、売上高は前年同四半期比16.0%増の30,280百万円となりました。

利益に関しましては、原材料のコストアップを販売価格の値上げ効果で吸収し、さらに数量の効果が大きく、前年同四半期比22.0%増の840百万円のセグメント利益となりました。

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)

科目	前期末 (2017年3月31日)	当第2四半期末 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産	198,077	186,437
現金及び預金	40,478	36,267
受取手形及び売掛金	80,754	71,166
有価証券	17,289	16,712
棚卸資産	47,980	55,805
その他	12,887	7,770
貸倒引当金	△ 1,311	△ 1,283
固定資産	125,315	129,957
(有形固定資産)	(53,595)	(54,221)
建物	16,564	16,458
土地	17,908	18,019
その他	19,123	19,743
(無形固定資産)	(24,173)	(24,454)
のれん	7,557	7,973
その他	16,616	16,481
(投資その他の資産)	(47,546)	(51,281)
投資有価証券	37,168	41,522
退職給付に係る資産	5,496	5,662
その他	5,186	4,413
貸倒引当金	△ 305	△ 316
資産合計	323,393	316,395

※当第2四半期末の有形固定資産の減価償却累計額 88,796百万円

科目	前期末 (2017年3月31日)	当第2四半期末 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債	108,225	100,940
支払手形及び買掛金	45,750	44,278
1年内償還予定の社債	3,000	3,000
短期借入金	5,445	7,960
1年内返済予定の長期借入金	11,391	1,790
その他	42,638	43,910
固定負債	75,261	76,733
社債	32,050	32,050
長期借入金	22,852	26,356
退職給付に係る負債	13,650	13,821
その他	6,709	4,505
負債合計	183,487	177,674
純資産の部		
株主資本	128,846	126,726
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	58,367	57,396
自己株式	△ 7,837	△ 8,986
その他の包括利益累計額	10,065	11,022
その他有価証券評価差額金	1,563	3,551
繰延ヘッジ損益	△ 33	△ 35
為替換算調整勘定	10,806	9,359
退職給付に係る調整累計額	△ 2,271	△ 1,852
新株予約権	302	196
非支配株主持分	691	774
純資産合計	139,905	138,720
負債純資産合計	323,393	316,395

四半期連結損益計算書の概要

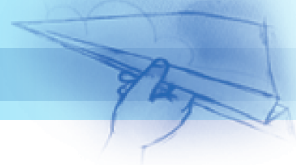
(単位：百万円)

科目	前第2四半期累計 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	当第2四半期累計 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)
売上高	160,457	173,125
売上原価	113,398	122,556
売上総利益	47,059	50,568
販売費及び一般管理費	39,082	41,523
営業利益	7,976	9,045
営業外収益	486	466
営業外費用	1,256	713
経常利益	7,207	8,798
特別利益	18	337
特別損失	387	199
税金等調整前四半期純利益	6,837	8,936
法人税等	2,802	3,158
四半期純利益	4,035	5,778
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,003	5,726

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

科目	前第2四半期累計 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	当第2四半期累計 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,896	13,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,401	△ 6,098
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,518	△ 11,534
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 745	△ 53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,768	△ 4,484
現金及び現金同等物の期首残高	41,516	56,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,747	51,805



三和シャッター工業株式会社

TOPICS 1



高速高頻度低振動グリルシャッター

「レジデンスグリルG1」を発売

マンションの駐車場向けの高速高頻度低振動グリルシャッター「レジデンスグリルG1」を9月より発売いたしました。

コンパクトな納まりと高い安全性



高速・高頻度・低振動・静音を実現した“快適さ”の追求だけでなく、納まりのコンパクト化や“はさまれ・巻込み・衝突防止センサ”をそれぞれ標準装備しており、高い安全性も確保しています。

TOPICS 2

徳島すぎに藍染を施したドアを組み込んだトイレブース藍

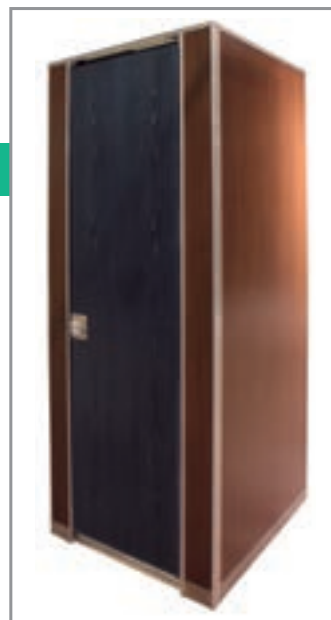
「ラベンダー-TA40-I」を発売

美しい木目の徳島すぎに、深みのある藍染を施したドアを組み込んだトイレブース藍「ラベンダー-TA40-I」を9月より発売いたしました。

高い耐水性・耐久性を実現



ドア表面にはウレタンクリア塗装を施しているため、藍染が色落ちすることはありません。



会社の概要

- 商号 三和ホールディングス株式会社
- 創立 1956年4月10日
- 資本金 38,413百万円
- 従業員数 (連結) 9,591名
(注) 従業員数は就業人員数を記載しております。
- 本社所在地 〒163-0478
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
(新宿三井ビル52階)
TEL (03) 3346-3019 (代表)
- 主なグループ会社 三和シャッター工業株式会社
昭和フロント株式会社
沖縄三和シャッター株式会社
三和タジマ株式会社
三和エクステリア新潟工場株式会社
ベニックス株式会社
三和スピンドル建材株式会社
Sanwa USA Inc. (アメリカ)
Overhead Door Corporation (アメリカ)
Creative Door Services Ltd. (カナダ)
Novoferm Europe Ltd. (イギリス)
Novoferm Germany GmbH (ドイツ)
Novoferm GmbH (ドイツ)
Novoferm France S.A.S. (フランス)
Novoferm Nederland B.V. (オランダ)
Alpha Deuren International B.V. (オランダ)
Novoferm Schievano S.r.l. (イタリア)
- ホームページアドレス <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ホームページで最新のトピックス、IR情報などを紹介、各グループ会社のホームページにもリンクしております。

- 役員
 - 代表取締役会長 ○ 高山 俊隆
 - 代表取締役社長 ○ 高山 靖司
 - 取締役専務執行役員 藤沢 裕厚 グローバル事業部門担当
 - 取締役常務執行役員 福田 真博 経営企画部門担当
 - 取締役(非常勤) 高山 盟司
 - 取締役 安田 信
 - 監査等委員である取締役(常勤) 在間 貞行
 - 監査等委員である取締役(常勤) 米澤 常克
 - 監査等委員である取締役 五木田 彬

- (注) 1. 安田信氏、米澤常克氏および五木田彬氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 当社は株式会社東京証券取引所に対して、安田信氏、米澤常克氏および五木田彬氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しております。

株式の状況

- 発行可能株式総数 550,000,000株
- 発行済株式の総数 235,000,000株
- 株主数 9,283名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,763	8.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,752	6.11
株式会社三井住友銀行	11,299	5.02
第一生命保険株式会社	8,100	3.60
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	7,038	3.12
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	6,420	2.85
JP MORGAN CHASE BANK 385632	5,196	2.30
日新製鋼株式会社	4,968	2.20
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,637	2.06
日本生命保険相互会社	4,516	2.00

- (注) 1. 当社は自己株式10,018,880株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定日
 - 定時株主総会議決権行使株主 3月31日
 - 期末配当金受領株主 3月31日
 - 中間配当金受領株主 9月30日
 - その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所(証券コード5929)
- 公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

- (注) 中間報告書の記載金額、数値、持株数および比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。